2022 年 10 月 20 日現在

IHRA 国際フォーラム 2022　セッション構成

混迷の時代のその先へ
～高速鉄道と共に切り拓く新たな世界～

2022 年 10 月 27 日（木）於名古屋マリオットアソシアホテル、ボールルーム

■09:30～09:50（２０分）

開会 Opening Remarks

開会挨拶　宿利正史　理事長
ビデオ　　岸田文雄　内閣総理大臣
来賓挨拶　斉藤鉄夫　国土交通大臣
ビデオ　　Rahm Emanuel 駐日米国大使

■09:50～11:30 オープニングセッション　Opening Session（１００分）

歴史の転換　～変わりゆく国際秩序の新たな姿と交通～

The “turning point” -The evolving new international era and mobility

内政重視・一国主義が台頭し、グローバルな安全保障環境が激変する中で、国際社会は歴史の転換を目の当たりにしている。各国は、大国による挑戦や経済構造の転換、そして越境するグローバルな課題（感染症、エネルギー安全保障、急速な気候変動、移民／難民問題、貧富の格差、独裁体制等）にどう取り組むのか。その中で、交通や高速鉄道をどう位置づけるのか。新たな世界秩序の姿を模索する。

■スピーカー

モデレーター：

道傳愛子、NHK 国際放送局 シニア・ディレクター

パネリスト：

-ASEAN／中東

Bilahari Kausikan シンガポール国立大学中東研究所所長、元シンガポール外務次官

-インド

Deepa Gopalan Wadhwa, 元駐日インド大使

-米国／豪州

Tom Schieffer, 元駐日米国大使

-欧州

David Howell, 元英国運輸大臣・エネルギー大臣

-日本

齋木昭隆、元外務次官

■進行案　１００分
各国地域の状況（モデレーター挨拶）　５名×５分＝２５分
モデレーターからの質疑　４５～７０分
モデレーターコメント　５分

■11:35～12:45 昼食 (70 min)

■12:45～14:25 セッション１　Session 1　（100 分）

国家戦略として高速鉄道プロジェクトに取り組む各国の現状と展望

Updates from countries building HSR as a national strategy

各国代表（委員ら）によるプロジェクトのアップデート。プロジェクト推進への決断と HSR に期待する社会経済効果を語る。

■スピーカー

モデレーター：

Roderick Smith, 英国インペリアルカレッジ・ロンドン名誉教授

パネリスト：

-豪州

Danny Broad、オーストレージアン鉄道協会（ARA）会長

-ASEAN

Arkhom Termpittayapaisith、タイ王国財務大臣

-インド

Achal Khare, インド高速鉄道公社（NHSRCL）元総裁

-欧州

Mark Thurston, High Speed Two (HS2) Ltd, CEO

■進行案　100 分
モデレーターによるセッション説明　５分
各国代表の発表　４名×１５分＝６０分
モデレーターからの質疑　３０分
モデレーターコメント　５分

■14:30～14:50　コーヒーブレイク Coffee and Tea Break（２０分）

■14:50～15:50 セッション２　Session 2　（６０分）

高速鉄道が創出する未来と挑戦～中央新幹線計画と北東回廊 SCMAGLEV～
The Future and opportunities created by HSR
- Japanese Chuo Shinkansen and US North East Corridor SCMAGLEV project-

■スピーカー
モデレーター：
森地茂、政策研究大学院大学名誉教授
パネリスト：
-柘植康英、東海旅客鉄道株式会社 代表取締役会長
-Wayne Rogers, TNEM 社 CEO、米国

■進行案　６０分
モデレーターによるセッション説明　２～３分
各人コメント（リニアの社会経済効果・革新性。中央新幹線と NEC プロジェクトの概要、取組みのアップデート）
２名×１５分＝３０分
モデレーターからの質疑　２０分

■15:50～17:00 セッション３　Session 3　（７０分）

持続可能な社会に高速鉄道が果たすべき役割とその可能性

The role and potential of HSR in the sustainable new era

世界があらゆる分野で脱炭素を始めとする取り組みを通じて持続可能な社会を追求する中、人の移動と高速鉄道をどう位置付け、その未来はどうあるべきか。高速鉄道が果たすべき役割とその可能性、課題解決に向けた新しい時代の技術革新、人材育成等への投資を考える。

■スピーカー

モデレーター：

Anson Jack, 英国 Birmingham 大学名誉教授

パネリスト：

-台湾

陳強　台湾高速鉄道株式会社　上級顧問（元取締役副社長）

-欧州

Manel Villalante, RENFE 社（スペイン国鉄）戦略成長本部長

-日本

深澤祐二　東日本旅客鉄道株式会社　代表取締役社長

■進行案　７０分

モデレーターによるセッション説明	２～３分
各人プレゼン	３名×１５分＝４５分
モデレーターからの質疑	２０分
モデレーターコメント	２～３分

■17:00～17:05 閉会挨拶（５分)

Larry Kelterborn, LDK アドバイザリー社社長、カナダ